

ゼオライト土嚢等処理の進捗状況について

2025年 5月29日

TEPCO

東京電力ホールディングス株式会社

1-1. ゼオライト土嚢処理の概要

- リスク低減のため、プロセス主建屋（PMB）と高温焼却炉建屋（HTI）の滞留水は床サンプへ滞留水移送設備を設置し、処理を進める計画であるが、その前にPMB、HTIの地下2階における高線量化したゼオライト土嚢・活性炭土嚢を回収する計画※。回収は、水の遮へい効果が期待できる水中回収を軸に検討を進めている。
- PMB・HTIの最下階のゼオライト土嚢等は回収作業を“集積作業”と“容器封入作業”の2ステップに分け、作業の効率化を図る計画。

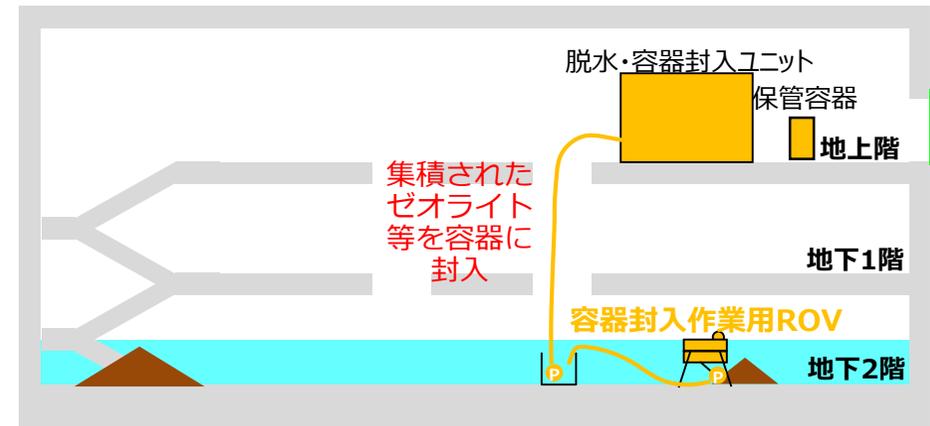
ステップ① 集積作業

- ✓ ゼオライト土嚢等について、作業の効率化による工期の短縮（完了時期の前倒し）を目的に、容器封入作業の前に集積作業を計画。
- ✓ 集積作業用ROVを地下階に投入し、ゼオライトを吸引し、集積場所に移送する。
- ✓ 活性炭土嚢は、地下階に移動させた後、上記と同様に回収する。



ステップ② 容器封入作業

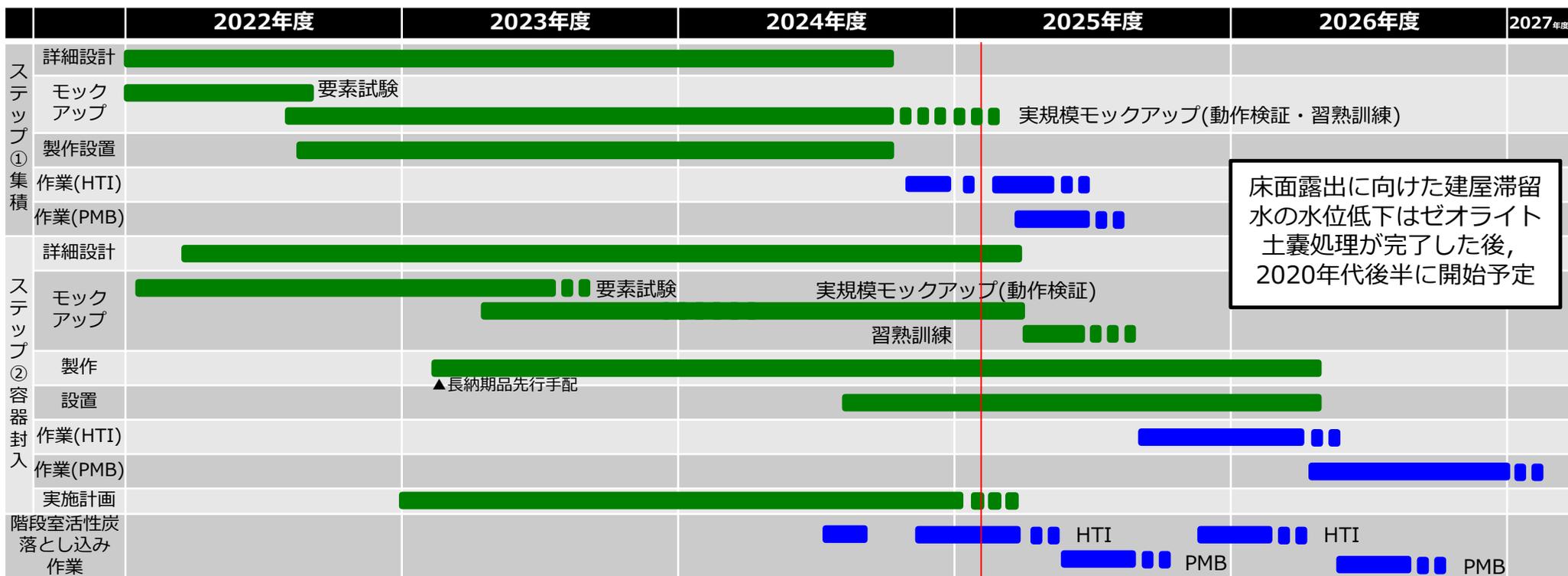
- ✓ 集積されたゼオライトを容器封入作業用ROVで地上階に移送し、建屋内で脱塩、脱水を行ったうえで、金属製の保管容器に封入する。その後は33.5m盤の一時保管施設まで運搬する計画。



※ 土嚢袋は劣化傾向が確認されており、袋のまま移動できないことから、中身のゼオライト等を滞留水とともにポンプで移送する方式を基本とする。

1-2. 本日の報告概要

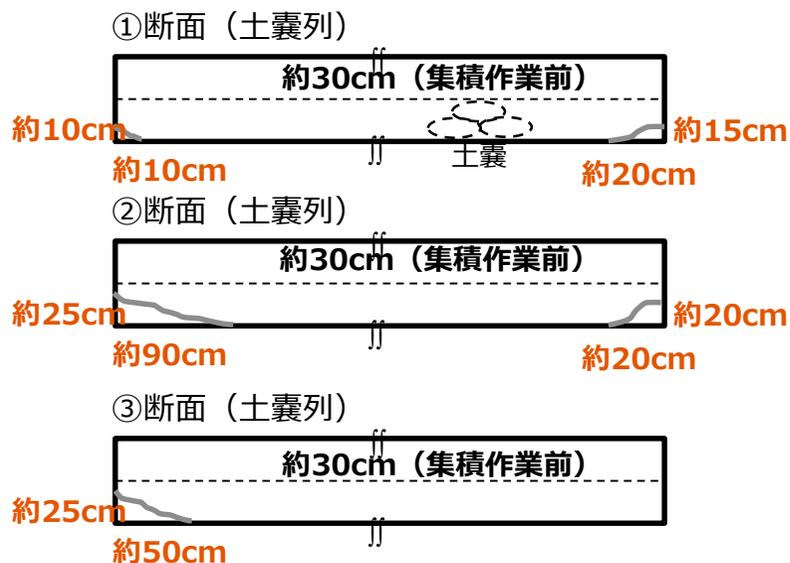
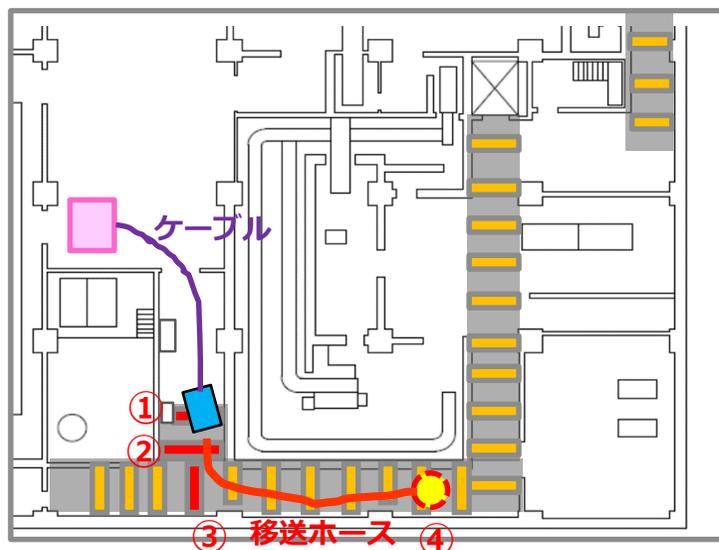
- ステップ①集積作業は3月26日から現場作業を開始。まずは試験的に作業を行い、実施状況の調査（水中調査）等を実施した後、連続的な作業へ移行する予定。作業期間は1年程度で、2025年度の容器封入作業の着手まで作業を実施する予定。
 - 現在は3列程度の集積が概ね完了した状況。作業によって濁水状況になったが、ソナー調査と静置後のカメラ調査にて確認。引き続き、安全最優先で作業を進めていく。
 - 一方で、新たな干渉物（落下した照明器具等）や確認されていた干渉物（ロッカーのようなもの）の移動等も確認されている。干渉物を移動する治具やその作業方法も含めてモックアップの中で検証を行っているが、今回確認された事象を踏まえて、改めて検証を行っている。
- 活性炭落とし込み作業は3月25日より本格作業を開始しており、現在、実施中。



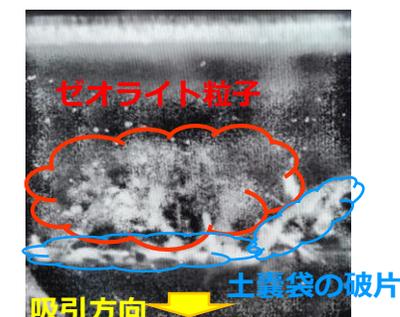
床面露出に向けた建屋滞留水の水位低下はゼオライト土嚢処理が完了した後、2020年代後半に開始予定

2-1. ゼオライト集積作業の実施状況

- 土嚢袋の破碎を行い、3列程度の土嚢列の集積が完了。ソナー調査及び濁水状況を静置させた後のカメラ確認にて、移送先の築山も確認。計画通り（モックアップ通り）に作業が進捗している。
※ 隅にゼオライトの残存が確認されているが今後、治具を用いて回収していく計画。



集積作業用ROV



吸引ノズルのカメラ画像

- : 集積作業用ROV
- : ゼオライト土嚢の列
- : ゼオライト土嚢の列 (概ね集積完了)
- : 集積作業用ROV投入口
- : 集積場所 (ホース投入口)

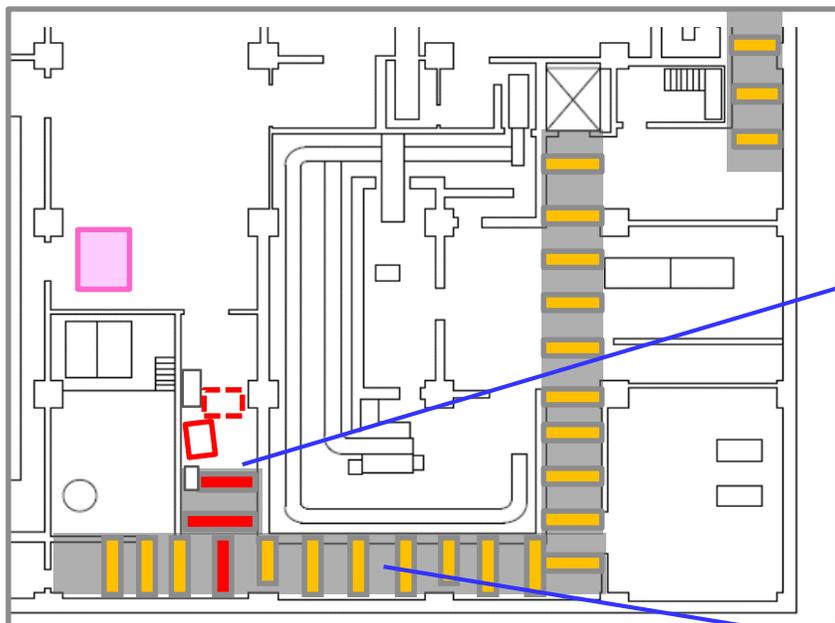


集積の築山の様子



2-2. 確認された干渉物等

- 新たな干渉物（落下した照明器具等）や確認されていた干渉物（ロッカーのようなもの）の移動等を確認。干渉物を移動する治具やその作業方法については、モックアップの中で検証を行っており、今回の作業前の干渉物（落下したダクトの一部）移設の実績もあるが、今回確認された事象を踏まえて、改めて検証を行っていく。



-  : ゼオライト土嚢の列
-  : ゼオライト土嚢の列
(概ね集積完了)
-  : 集積作業用ROV投入口
-  : 干渉物（ロッカーのようなもの）
点線は移動後の状況



干渉物の例（落下したダクト）
※移置済



干渉物の例（落下した照明器具）